

前橋市元総社公民館  
公民館運営推進委員会

令和3年度第2回委員会

日時 令和4年3月10日(木) 午後2時  
場所 元総社公民館 第1会議室

# 会 議 次 第

## 1 開 会

## 2 委員長挨拶

## 3 議 事

### (1) 令和3年度元総社公民館の事業実績について

公民館運営推進委員会委員名簿	・・・	1頁
①公民館の事業概要	・・・	2頁
②事業費等の状況	・・・	23頁
③公民館の利用状況	・・・	24頁
④各種団体活動事業	・・・	26頁
⑤地域寺子屋事業	・・・	28頁

### (2) 令和4年度元総社公民館の運営と事業計画について

①公民館の重点施策	・・・	30頁
②公民館事業計画	・・・	33頁

## 4 意見交換

## 5 閉 会

# 令和3・4年度 前橋市元総社公民館運営推進委員会 委員名簿

任期: 令和5年6月30日 (敬称略)

No.	氏名	所属団体・役職名	区分	備考
1	早乙女 俊 夫	元総社小学校 校長	学校教育関係者	
2	小 池 千 秋	元総社中学校 校長		
3	金 井 和 夫	元総社地区民生委員児童委員協議会 会長	社会教育関係者	
4	木 村 英 一	元総社地区子ども会育成団体連絡協議会 会長		
5	城 田 秀 夫	元総社地区体育推進委員会 会長		
6	石 井 宏 樹	元総社公民館利用自主グループ連絡協議会 会長		
7	大 関 三 枝 子	元総社地区ボランティア連絡会 会長		
8	奥 野 美 代 子	元総社地区保健推進員会 会長		
9	水 野 涉	元総社地区自治会連合会 会長	学識経験者	委員長
10	林 悦 実	元総社地区生涯学習奨励員連絡協議会 会長		

# ①公民館の事業概要（事業実績）

## 1 子育て・親子支援

### すこやか学級

#### (1) ねらい

- 1 子育てに関する学習を通して、
  - ①明るく心豊かな家庭を築こうとする意欲を高める。
  - ②育児における実践力を養う。
- 2 同年齢の子どもをもつ親同士の交流や講師、託児協力者との交流を通して、
  - ①子育てに対する不安や孤独感を和らげる。
  - ②それぞれが充実した日常生活を営めるよう支援する。

#### (2) 対象等

対象：市内在住の未就園児（1～3歳未満）とその保護者

周知方法：館報へ掲載、市内各所へチラシ配布、ホームページ掲載

#### (3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	組数
1	9/15 (水) 10:00～11:30	<開級式>/たこさんとあそぼう！～読み聞かせ～	講義 実技 交流	たこさんのおはなしや（前橋市読み聞かせグループ連絡協議会長） 田子 智代	中止
2	9/28 (火) 10:00～11:30	子育て井戸端会議		前橋市幼児教育アドバイザー 井上 昭子	中止
3	10/6 (水) 10:00～11:30	おくちげんき教室～歯の大切さを親子で学ぼう～		前橋市子育て支援課	中止

#### (4) 評価と反省

開催に向け事務を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、まん延防止等重点措置区域や緊急事態宣言区域に群馬県が適用されたことに伴い、今後の講座計画から延期することが困難となり開催中止とした。

来年は、できることをできる時期に企画すると共に、過去の受講者の意見等を参考とし、より充実した講座が開催できるように努めていきたい。

## 親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた”(ベビープログラム:略称BP)

### (1) ねらい

- ①初めての子育てをする母親が、子育てに関する知識・技術について学習する。
- ②同じ月例期の乳児を持つ母親同士が情報を共有し、交流することで子育ての不安を軽減し、お互いの子育てについて学び合う。

### (2) 対象等

対象：市内在住で2ヶ月から5ヶ月の第一子（令和2年12月24日～令和3年4月25日生）を育てている母親とその子（定員8組）

開催場所：清里公民館 第一・二会議室

周知方法：①子育て支援課の事業（赤ちゃん訪問、健康相談等）を利用し対象者へチラシを配布。

②各公民館で、チラシを自治会回覧すると共に、公民館内にチラシを設置。

③申込み状況に応じ、各公民館報、ホームページへ掲載。

延べ参加者数：30組

### (3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	組数
1	6/25 (金) 10:00～ 12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実技 交流	子育て支援課 BPファシリ テーター	7
2	7/2 (金) 10:00～ 12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			7
3	7/9 (金) 10:00～ 12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳児の心の発達の大切さを知る			8
4	7/16 (金) 10:00～ 12:00	親になること ・はじめてから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			8

### (4) 評価と反省

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催できなかったが、今年は清里公民館を会場として、元総社・総社・清里3館合同開催を行なった。

各館の担当者が協力しながらスムーズな運営を心がけた結果、「共感し合える仲間ができて楽しかった。赤ちゃん主体のゆったりとした講座でとても良かった。」との感想がアンケートにあり、参加者同士の中を深められたようである。

次回も参加者に満足してもらえるよう努め、講座が終了しても参加者同士の交流が保たれるように工夫ができればと思います。

## 2 青少年体験・チャレンジ教室活動

### 学習支援・体験授業「SUPER寺子屋」

#### (1) ねらい

- ①地域の中学生に対する学習支援や居場所づくりを行う。
- ②体験学習を実施し、学習意欲を高める。
- ③大学生が事業を企画立案し実施することで、学生自身の地域貢献及び成長の機会とする。
- ④地域づくり推進の面から、体験学習は地域住民に講師をお願いし、世代間交流と地域で子どもを育てる仕組みづくりの一助とする。

#### (2) 対象等

対象：元総社地区在住の中学生

延べ参加者数：25名

運営の中心は県内大学生。

#### (3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/9(火) ①16時～17時 ②17時～19時	①学習支援(自習中心) ②体験学習 (お手玉人形作り体験)	学習 体験 現地 見学	地域寺子屋の指導者(元教員)とサポーター(大学生)、地域住民等	7
2	11/10(水) ①16時～17時 ②17時～19時	①学習支援(自習中心) ②体験学習 (昔遊び体験)			8
3	11/12(金) ①16時～17時 ②17時～19時	①学習支援(自習中心) ②体験学習 (地域の歴史講話)			10

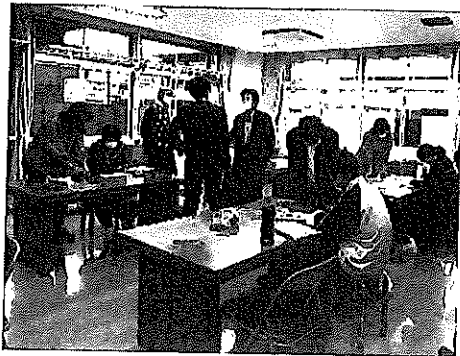
#### (4) 評価と反省

地域寺子屋のサポーターである大学生が企画運営の中心となり、学習支援と体験学習の二部制で開催した。コロナ禍の影響もあり集客に苦労したが、地域寺子屋の参加者に声をかけ、また、地域寺子屋OG(高校生)から声掛けをしてもらい、最終日は多くの生徒達で賑わっていた。

学習支援では毎回4教科の問題を大学生が作成して参加生徒に配布し、指導者とともに支援を行っていた。体験学習では、地域の住民が積極的に生徒に関わり、生徒達を熱心に指導していた。

参加者アンケートの結果によると、全体的な満足度は高く、楽しみながら参加できたという意見が多かった。

運営側の大学生は、地域貢献と成長の機会を得ることができ、参加者は、地域の方との交流や地元の歴史を知る良い機会になった。1年生の参加が少なく、来年度の集客に不安が残るため、開催日程の縮小など検討が必要である。



学習支援の様子



体験学習（昔遊び）の様子

## プレイルーム元総社

### (1) ねらい

文化的な活動や工作を通して、

①子どもの豊かな心を育む。

②学校や学年の枠を越えた交流の場を提供し、仲間づくりを進める。

③地域交流の場を提供し、地域の絆を深める。

### (2) 対象等

実施にあたっては、元総社地区ボランティア連絡会の協力のもと実施。各回全て、年長の幼児から小学4年生までの児童を対象とし、保育所や小学校へのチラシ配付やタブレット配付、公民館報を通して、各回参加者を募集。

延べ参加者数：162名（予定を含む）

### (3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	7/10 (土) 10:00~11:30	『こども電気教室』 (クリップモーター) ～どうして物が 回転するのか 考えてみよう!～	実習	講師：山川 治美 (関東電気保安協会) 元総社地区ボランティ ア連絡会	30
2	7/30 (土) 10:00~11:30	『万華鏡づくり教室』	実習	講師：大関 三枝子 須賀 三枝子 (元総社 地区ボランティア連絡 会) 元総社地区ボランティ ア連絡会	26
3	11/6 (土) 10:00~11:30	『マジックショーと マジック教室』 ～手品をマスターして、 学校のヒーローに なろう!～	鑑賞 実習	講師：ワンダー吉井 (市民講師による出前 講座) 元総社地区ボランティ ア連絡会	39



4	12/24 (金) 10:00~11:30	『けん玉教室』 ～けん玉の技を覚えて 楽しく遊ぼう!～	鑑賞 実習	講師：山崎 隆裕 (職員講師による出前 講座) 元総社地区ボランティ ア連絡会	31
5	3/5 (土) 10:00~12:00	『動かして遊べる 工作教室』 ～牛乳パックを再利用して 楽しいおもちゃを つくろう!～	実習	講師：笠原 弘 (市民講師による出前 講座) 元総社地区ボランティ ア連絡会	中止

#### (4) 評価と反省

元総社地区ボランティア連絡会の協力により、幼児から児童を対象とする地区催事として長年定着している。今年度は、コロナ禍でも、開催できる講座を積極的に行なっていこうと元総社地区ボランティア連絡会と相談しながら「プレイルーム元総社」を開催した。

各所で行事の中止や規模縮小、行動の自粛が行なわれているため、参加した幼児や児童は講座を通して、学年や学校区を超えて交流し、新しい交友関係を築くことができ、毎回楽しみにしている。

また、元総社地区ボランティア連絡会の会員が、子ども達のサポーターとして一緒に講座へ参加することで、地元の世代間交流の場ともなっている。

来年度も、子ども達が楽しみにしているので、楽しみながらできる講座をボランティア連絡会と模索しながら、マンネリ化をしない講座を企画していきたい。

#### 【第1回 こども電気教室 (クリップモーター)】

うまくコイルを回すにはコツがあり、年長さんや小学校1年生の子ども達には難しかったようである。講師やボランティアさんの手助けにより、何とかコイルが回るのを子ども達に体験させられ、最低限の目的は達成できたのではないと思う。今回の反省を活かし、今回は、対象者に合った講座を吟味し開催したい。

なお、電気はとても便利なエネルギーですが、使い方を間違えるとケガや火災を引き起こすことをDVDで分かりやすく説明してくれたため、電気を正しく安全に使用方法を子ども達は学べたようである。

#### 【第2回 万華鏡づくり教室】

いつもご協力を頂いている地区ボランティア連絡会長から提案された学習でしたが、内容的に、子ども達が飽きずに学習できるのか、内心、心配でした。

しかし、いざ学習が始まると、子ども達は楽しみながら学習し、あっという間に時間が過ぎていくのを目の当たりにして、ボランティア連絡会さんの底力を感じた。

学習の中で一番盛り上がったのは紙飛行機づくりで、各自で作った紙飛行機で、誰が一番遠くまで飛ぶかと全員参加の競争を始め、楽しんでいました。また、万華鏡を作り終え、子ども達に万華鏡を覗いてみるように促したところ、万華鏡を回しながら覗くこと知らない子どもの多さにビックリし、体験学習の必要性を再確認すると共に、マグネットフラワーづくりのような楽しみながら子ども達のセンスも育む講座も取り入れていけたらと感じました。

#### 【第3回 マジックショーとマジック教室】

講師と教室内容の打ち合わせをする中で、参加者が小学校低学年ということから、去年の反省を活かして単純なマジックを選んだため、参加者の多くが楽しく体験学習ができ、マジックを覚えられたように見受けられた。

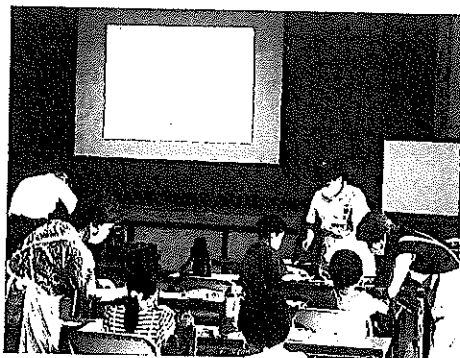
また、ボランティア連絡会員さんや社会教育実習生の補助のおかげで、アンケートでも、「いろんなマジックができて楽しかった。」、「去年より楽しかったし、おもしろかった。」といった感想が多かったので、今後、楽しみながら体験学習などができる教室（講座）を検討したい。

最後に、いろんな要因があると思うが、今回初めて募集人員に満たなかったため、今後は、多くの周知方法で募集することとした。

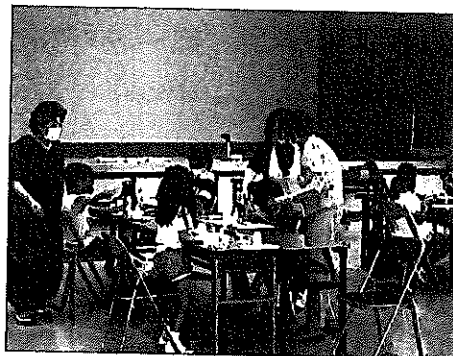
#### 【第4回 けん玉教室】

初めて開催した講座であったが、講師の進行の仕方や話術、ボランティア連絡会員さんの協力によって教室は大変盛り上がり、子ども達は誰一人置いてけぼりにならず、けん玉の技や遊びを楽しく学べたようで、アンケートでも、「最初はできなかつたけど、先生に教えてもらって、とてもよくできて楽しかった。」という感想が多かった。

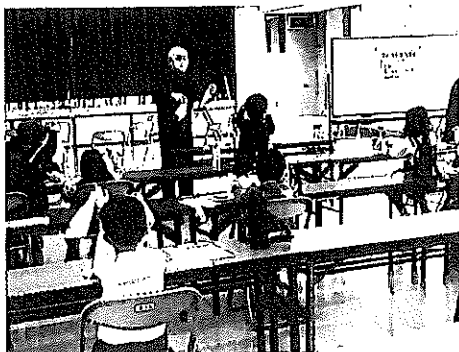
最後に、今回も募集定員に満たなかったため、今後は、より多くの周知方法を活用すると共に、より魅力的な講座（教室）を探し出し開催していきたい。



山川講師による電気教室の様子



万華鏡づくり教室の様子



ワンダー吉井講師による  
マジック教室の様子



マジック教室の様子

### 元総社少年教室(おもしろサイエンス)

#### (1) ねらい

- ①体験活動を通して、子供たちの自由な発想を引き出し、自らの考えを表現する力を育む。
- ②学年や学校を越えた交流を通して、子どもたちのコミュニケーション能力を向上させる。

#### (2) 対象等

元総社地区在住の小学生

#### (3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/17(火) 10:00~11:30	おもしろサイエンス ～バスボムを作ろう～	実験	NPO教育支援協会 北関東 畠中 祥世 小林 香織	中止
2	1/30(日) 10:00 ～12:00	おもしろサイエンス ～バスボムを作ろう～	実験	NPO教育支援協会 北関東 畠中 祥世 小林 香織	18

### 元総社少年教室(探求・ふれあい講座 第3弾)

#### (1) ねらい

- ①生き物の仕組みについて感じる不思議を引き出し、その理由を考え、実際にふれあい検証することで、生態への理解を深める。
- ②生き物とのふれあいを通してストレスを軽減し、心を癒す。
- ③動物が生きるための自然環境を整えることについて学ぶ。
- ④学年や学校を越えた交流を通して、コミュニケーション能力を向上させる。

(2) 対象等

元総社地区在住の小学生

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	8/19 (木) 9:30~11:00 13:30~15:00	探求・ふれあい講座第3弾 ①目のひみつにせまる ②フクロウを描こう & 聞いてちょう	講義 実習	地域おこし協力隊 川島 志保 環境カウンセラー・プロジェクト ワイルドファシリテーター 小崎 昭一	中止
2	2/26 (土) 10:00 ~11:30	探求・ふれあい講座第3弾 フクロウのひみつにせまる	講義 実習	地域おこし協力隊 川島 志保	8

### 3 生涯学習奨励員活動支援

#### 生涯学習奨励員単独研修(出前講座)

(1) ねらい

①研修を通して生涯学習奨励員の資質向上を図り、研修の成果を地域に還元する。

②生涯学習奨励員の連携を深め交流を図る。

(2) 概要

生涯学習奨励員12名を対象に実施。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	12/10 (木) 18:30~19:30	「ごぞんじですか?後期高齢者医療制度」	講義	前橋市国民健康保険課 栗原 茂樹他3名	10

(4) 評価と反省

単独研修の内容は、それいけ!まえばし出前講座のメニューで、事前の会議で協議し決定した。参加者には、あと数年で後期高齢者の年齢に到達する方もおり、年金しか収入がない中で保険料がどうなるのか?どのようなサービスを受けられるのか?など、とても不安に感じているとの意見が多数あり開催した。

講義の中で、保険制度の切り替えに伴う手続きや、現在の保険料との比較、当該医療制度で対応できない部分など、数年先を見据えた質問があり、講師から丁寧な説明を受けた。この研修により、奨励員活動の一環として、何らかの方法で同様な状況の方々に説明等を行っていただけることを期待したい。

#### 自治会長・生涯学習奨励員合同研修(出前講座)

(1) ねらい

①研修を通して生涯学習奨励員の資質向上を図り、研修の成果を地域に還元する。

②自治会との連携を深め、地域の生涯学習の更なる活性化を目指す。

(2) 概要

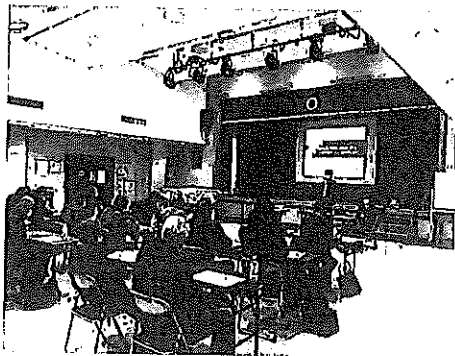
生涯学習奨励員12名と自治会長12名を対象に実施。

(3) 内容

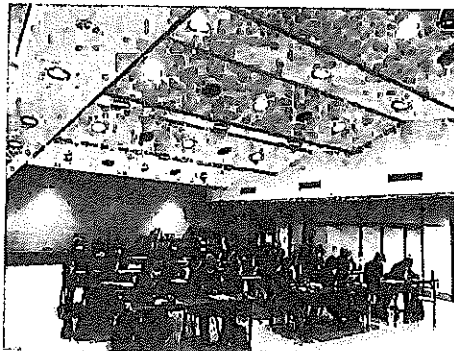
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	1/20 (木) 18:30~19:30	「みんなで楽しく地域づくり!」	講義	前橋市生活課 神子澤 政彦	20

#### (4) 評価と反省

自治会長との合同研修として開催したため、出前講座のメニューから地域づくりについての講座を選び開催した。コロナ禍での活動事例なども多く紹介されたが、講座の中で示された地域の課題が、各町で現在抱えている問題と一致しているため、参加者から積極的に質問があった。



講座の様子



講座の様子

## 4 自主学習グループ活動支援

### (1) ねらい

- ①公民館を利用し活動をしている自主グループリーダー相互の学びあいと交流を図る。
- ②自主学習グループ会員の高齢化が進んでいる現状を踏まえ、高齢者を狙った詐欺等の手口に騙されない手法を学習する。
- ③研修を通して学んだことを地域に還元できるような体制づくりの推進を図る。

### (2) 概要

公民館利用自主グループ代表並びに会員を対象に実施

### (3) 内容

回	月日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	11/27 (土)	グループ連協親睦会	交流会	なし	28
2	1/8 (土) ~9 (日)	リーダー研修会「悪質商法に気をつけよう」(市出前講座)	講義	消費生活センター 消費生活啓発員	27

### (4) 評価と反省

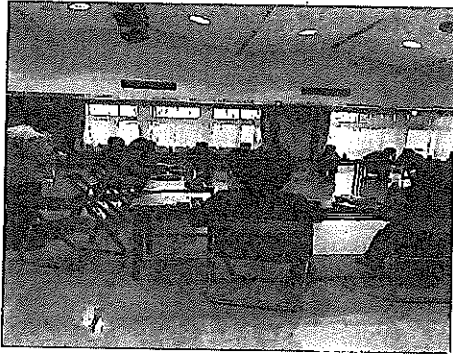
親睦会では、昨年同様グループの活動紹介や意見交換などを行った。コロナ禍で思うように活動が出来ないグループもあったが、その中でどのように工夫して活動しているかを、互いに情報共有することができた。地域行事も軒並み中止となっており、外出も制限され寂しく思っている人も多いようで、会員同士の顔を合わせお互いの元気な姿を見ることができる良い機会となったのではないかと思う。最後は太極拳グループの会員指導のもと、気功体操を行い、体を温めて終了した。

リーダー研修会では、昨年度中止になった出前講座「悪質商法に気をつけよう」行った。高齢者や主婦が、巧妙な手口でお金をだまし取られていく様子を、寸劇を通してわかりやすく学習することができ良かったと思う。

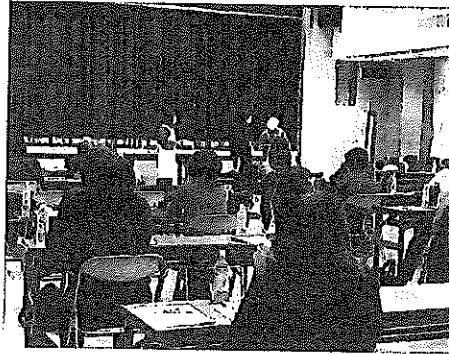
参考:元総社公民館利用自主学習グループ連絡協議会行事

回	月日	内容等
1	4/14 (水)	総会
2	—5/8 (日)—	元総社地区のびゆくこどものつどい参加(車椅子体験コーナー) ※中止

3	10/29 (金) - ~ 31 (日) -	第36回元総社地区文化祭 ※中止 ・のぼり旗作成 ・作品展示・舞台発表・子ども広場に参加
4	11/27 (土)	親睦会 (公民館ホールにて活動紹介)
5	12/6 (月)	元総社公民館大掃除
6	1/9 (日) -	元総社ふれあいまつり参加 (餅つき・凧づくり) ※中止
7	1/8 (土) ~9 (日)	元総社地区文化・作品展示会
8	1/18 (火)	自主グループリーダー研修会「悪質商法に気をつけよう」
9	2/1 (火)	グループ連協だより第53号発行 (予定)



各グループの活動紹介をしました  
(親睦会)



だましの手口をわかりやすく学びました  
(リーダー研修)



## 5 学び合い・人権・地域ふれあい

### 元総社地区文化・作品展示会（地区文化祭代替事業）

#### (1) ねらい

第36回元総社地区文化祭が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2年続いて中止となったことから、コロナ禍でも活動に励む自主グループ連絡協議会員の作品発表の場を作ると共に、地区の各団体にも参加を呼び掛け、作品展示を通して、地域の芸術文化の振興と向上を図り、併せて地域住民のつながりを深めることを目的とする。

#### (2) 概要

対象者：元総社地区の住民及びその関係者

開催場所：元総社公民館 各部屋

主催（共催）：元総社公民館、元総社公民館利用自主グループ連絡協議会

協力団体：元総社地区教育文化振興会（元総社地区自治会連合会）

周知方法：館報へ掲載、自治会掲示板へチラシ掲示、公民館敷地内にチラシ掲示、上毛新聞へ投げ込み（1月9日掲載）

参加団体：16団体

延べ来館人数：377名

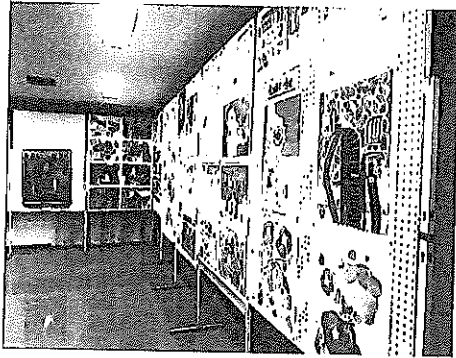
#### (3) 内容

回	月日・時間	部門	内容	人数
1	1/8（土） 9:00～16:00 ～ 1/9（日） 9:00～15:00	作品展示	陶芸・俳句・書道・絵画・貼り絵、工作・絵手紙・宇宙科学（視聴覚室、第1会議室、第2会議室）  ・元総社公民館利用自主グループ連絡協議会6団体 ・元総社地区生涯学習奨励員連絡協議会 ・地区4小中学校（元総社中学校、元総社小学校、元総社南小学校、元総社北小学校） ・元総社保育所、元総社幼稚園	377
		伝統芸能	活動紹介（ホール）  ・総社神社太々神楽保存会 ・元総社町上宿町獅子舞保存会 ・大友町百万遍保存会	

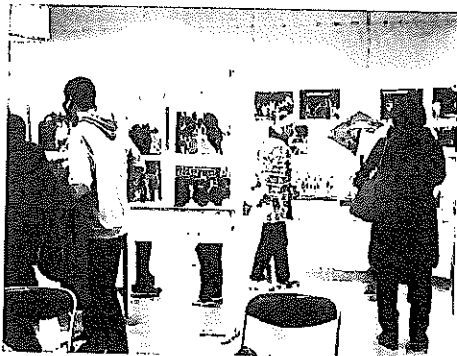
#### (4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年に引き続き地区文化祭の中止が決定されたが、出来ることを行おうと代替事業として計画し、無事開催することができた。地域の方々に活動の成果を觀てもらい、参加団体や子ども達も今後の励みになったと思う。

今回の文化・作品展示会を振り返ると、来館者の多くが中学校以下のお子さんがある家族連れで、お目当ての作品を觀ると他の部屋の作品を觀ずに返ってしまうという光景が窺えた。そのため、展示会に限らず、小中学校等が参加する大きな催しを開催する際には、効果的な順路や部屋の配置などを検討して開催したい。



小学校作品展示の様子



伝統芸能活動紹介の様子



自分たちの展示作品を觀る様子  
(日本宇宙少年団前橋分団)

### 幼児と保護者のふれあい七夕飾り展

#### (1) ねらい

公民館へ来館した方や地区内の保育所(園)・幼稚園に通う幼児と保護者による七夕短冊の作成を通じて、

- ①幼児と保護者の絆を深める。
- ②発表の場を提供し、幼児の豊かな心を育む。
- ③地域連携が図れるような「つながり」を保つ。

(2) 対象等 来館された方の作成短冊は、6月21日から玄関ホールの笹竹に随時飾りつけて展示し、幼児と保護者が作成した短冊は、7月1日から室内で3密にならずに、休館日でも中庭から楽しんでもらえるよう、ホール前廊下の窓ガラスへ外向きに飾りつけて展示を行なった。

周知方法：①館報へ掲載、②ポスターを館内掲示、③本市 Facebook へ投稿  
④上毛新聞へ投げ込み（7月5日掲載）、⑤群馬テレビで放映  
（7月7日放映）

開催場所：元総社公民館 玄関ホール・ホール前廊下の窓ガラス

協力団体：元総社地区青少年健全育成会、元総社地区ボランティア連絡会

延べ短冊枚数：689枚（うち幼児保護者による七夕短冊632枚）

### (3) 内容

回	月日・時間	内容	短冊枚数
1	6/21（月）～ 7/25（日） 常時	公民館へ来館された方や地区内の保育所（園）・幼稚園に通う幼児と保護者が、願い事を記載したり、装飾を加えた色とりどりの短冊の作成及び展示を通じて、幼児と保護者の絆や地域のつながりを保つことなどをねらいとして開催。	689

### (4) 評価と反省

初めての企画であったため、開催までのスケジュールに余裕がなかったが、地区ボランティア連絡会の協力もあり、何とか地区内の保育所（園）、幼稚園に通う幼児とその保護者が作成した色とりどりの短冊632枚を期日までに展示することができたと共に、大変見応えのある展示になった。

また、期間中に多くの方が展示を観に訪れ、特に休日、多くの親子が短冊展示を観に足を運んでくれた様子を見ると、事業目的のほかに、普段、公民館へ訪れない人達へ公民館を知ってもらおうきっかけとなったと思われる。

今回、協力依頼ができなかった保育園がありましたので、その他の反省点も含め、次回はより良い展示会にしていきたい。



玄関ホールでの展示風景



中庭から観た  
ホール前廊下での展示全風景

## 児童生徒の人権教育に係る作品（標語や作文、ポスター等）の活用

### (1) ねらい

地区内4小中学校の児童・生徒が作成した人権教育に係る作品を、地区内に周知・提供することにより、地区内人権意識の向上と啓発を図る。

### (2) 概要

ア 元総社地区青少年育成推進委員会と地区内4小中学校と連携し、地区内4小中学校へ「いじめをなくすスローガン」の作成依頼。

各学校の優秀作品の中から、元総社地区青少年育成推進委員会にて最優秀作品を選出した。

イ 市教育委員会から各学校への協力依頼に基づき、公民館からも地区内4小中学校へ作品の提供依頼を行った。

### (3) 内容

ア 最優秀作品に選出されたスローガンの「のぼり旗」を元総社地区青少年育成推進委員会で作成。各学校へ「のぼり旗」を配布すると共に啓発掲示を依頼した。

なお、各学校の代表作品パネルを作成し、館の玄関ホールへ「のぼり旗」と一緒に掲示すると共に、「のぼり旗」については、外へ向けて館の敷地内にも設置して啓発を行っている。

イ 地区内の小中学校から提供された作品を1月17日（月）から2月28日（金）まで、館の玄関やホール前の廊下などを利用し、人権作文や標語等の展示を実施した。

#### 【展示作品】

元総社中学校:人権標語 人権作文

元総社小学校:人権学習取組みまとめ（いじめ0宣言・思いやりカード）

元総社南小学校:人権標語

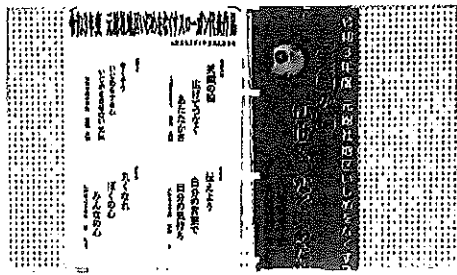
元総社北小学校:人権標語

### (4) 評価と反省

公民館利用者へ地区4小中学校の児童・生徒が普段感じている人権について広く知っていただく良い機会となった。

今年度も元総社地区青少年育成推進委員会と協力し、元総社地区いじめをなくすスローガンのパネル展示と「のぼり旗」の掲示を行ったり、公民館報にも掲載するなど、地区内人権意識の向上と啓発を図っている。

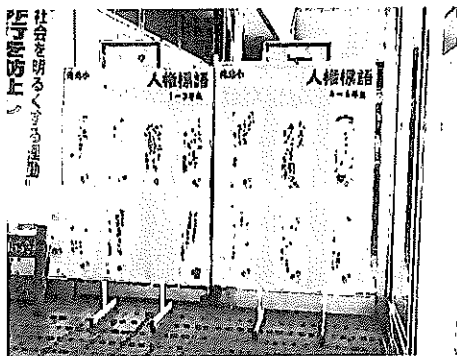
来年度も、元総社地区青少年育成推進委員会と地区内4小中学校と連携し、児童・生徒の作品を展示して、地区内人権意識の向上と啓発のため活動を継続していきたい。



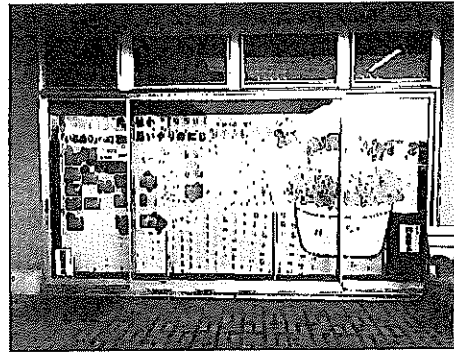
各学校の「いじめなくすローガン」  
「のぼり旗」啓発掲示の様子



元総社中学校の人権教育に係る  
作品展示の様子



元総社北小学校の人権教育に係る  
作品展示の様子



元総社・元総社南小学校の人権教育に  
係る作品展示の様子

### 手をつなぐ作品展の活用

#### (1) ねらい

障がい者が制作した作品や活動写真を展示することにより、来館された方々へ障がい者理解を促す。

#### (2) 対象等

公民館を訪れる全ての方。

周知方法：館報へ掲載、玄関ホールへポスター掲示

#### (3) 内容

回	月日・時間	内容	(敬称略)
1	10/27 (水) ~ 11/8 (月) 8:30~17:15 土・日除く	障がい者が制作した作品や活動 写真を展示。	主催：前橋市手をつなぐ 育成会 共催：公民館等

#### (4) 評価と反省

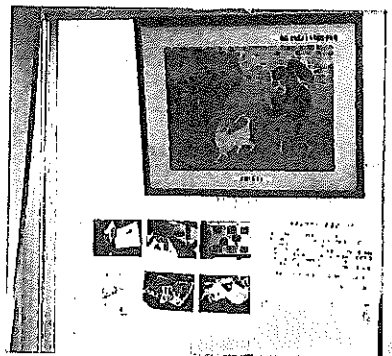
昨年に引き続き作品展を開催したところ、作品が丁寧に作られていて、作品を手にとって驚いていた来館者もあり、障がい者に対し理解を深めてもらったと思う。

また、作品展に、日頃から公民館へ使用切手をご持参して頂いていることもあり、その使用切手がどのように再利用されているかを知って頂くために、ほんの一部であるが、障がい者施設で制作された貼り絵の展示を併せて行い、周知を図ることが出来たと思われる。

本来であれば、地区文化祭と重なるよう日程を設定し、多くの来館者にご覧いただこうとしたが、文化祭の代替事業も延期となってしまったため単独開催となってしまったが、もし来年も日程が設定できるのであれば同時開催になるよう設定して、より良いものにしていきたい。



展示の全景  
(玄関ホール北奥)



使用切手を使った貼り絵  
展示の様子

## 元総社ベテラン学習講座

### (1) ねらい

元総社地区在住の高齢者が、今後、日常生活においての負担軽減が図れることを目的とする。

本講座では、次のねらいをもって開催する。

- ①本市が目指すデジタル最先端技術等を活用した「スーパーシティ」の実現により、地域高齢者の日常生活の負担が軽減できるよう情報収集・伝達手段として普及したスマートフォンの基礎的な使い方を学習する機会とする。
- ②新型コロナウイルスによる洋々な経験を基に新たな生活様式を取り入れ今後起こり得る非常事態（防災・防犯など）の際の自己防衛手段として活用できるようにする。
- ③新たな生活様式を取り入れ、自宅中心の生活をしている高齢者と地域との「つながり」を保つ手段の方法を知る機会とする。

### (2) 対象等

対象者：元総社地区在住の60歳以上の方。

周知方法：第1回目は、元総社地区老人クラブ連合会協力による会員回覧

による周知。第2回目以降は、館報へ掲載。

延べ参加者数：66名（予定含む）

### (3) 内容

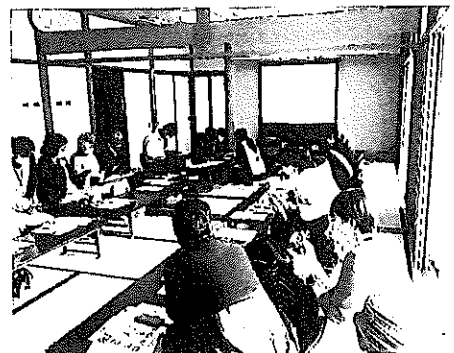
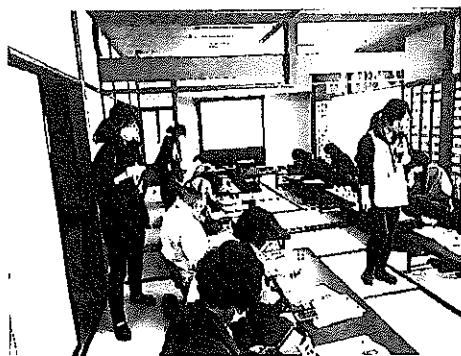
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	10/27 (土) 10:00~12:00	『お持ちのスマートフォン を使ってより良い生活に！ ～基礎編～』	実習	講師：小林 秀也 以下5名 (NPO教育支援協 会北関東)	27
2	12/9 (木) 14:00~16:00	『これは簡単！これは安 心！はじめてのスマホ体験 ～基礎編～』	実習	講師：柏原 利都子 以下3名 (ソフトバンク株式 会社)	18
3	2/1 (火) 10:00~12:00	『お持ちのスマートフォン を使ってより良い生活に！ ～応用編～』	実習	講師：小林 秀也 以下5名 (NPO教育支援協 会北関東)	21 予定

### (4) 評価と反省

地域高齢者の日常生活の負担が軽減できるよう、情報収集・伝達手段として普及したスマートフォンの基礎的な使い方を学習する機会を設けたところですが、よくある一方通行の講座ではなく、参加者の学習状況を確認しながらゆっくり丁寧に進め、また、参加者へのフォローも手厚い講座であった。

参加者は、分からなかったら近くにいる講師に聞けるため、ほとんどの参加者が学びの確認を行っていたように見え、アンケート未回答者を除けば多くの参加者が新しい知識を学び、参加して良かったというアンケートの意見が多く、開催して良かったと感じた。

今回、スマートフォン講座を開催したところ、募集定員以上の問い合わせがあり、多くの方が関心を持っていることが分かったため、来年度以降についても、何回かに分けてスマートフォン操作での疑問が解消できるような場を提供すると共に、従来の集いの場・仲間作りの場を提供し、喜びや生きがいにつながる講座を開催したい。



スマートフォン講座の様子

## 6 情報提供事業

### (1) 「かんぼう元総社」の発行

①公民館の主催事業、各種団体の事業のお知らせや事後報告、市民サービスセンター業務を掲載し、毎月1日に発行している。平成25年10月号以降、サイズをA3版裏表半折で作成している。

②毎戸配布部数は約9,100部、年間配布部数約109,000部。発行日に合わせ、インターネット閲覧できる電子版の館報も作成し、市役所ホームページ経由で閲覧を可能としている。

③紙面拡大後の、地域団体やサークルによる記事掲載依頼も多く受けている。掲載情報が多いが、見出しを大きくし、イラストや写真も盛り込み目立たせることで、記事内容が分かりやすいように配慮している。

### (2) ホームページ・フェイスブックを活用した情報提供の充実

①インターネット経由の情報発信は、行事等速報を迅速・広範に提供できるため、フェイスブックの活用を引き続き推進した。ホームページの情報から講座に参加した出席者もいることから、色づかいやイラストなどを工夫し、より興味を引く情報発信を行った。フェイスブックはスマートフォン経由の参照者が多く、対象となりうる個々人に広くアピールする効果がある。広報担当者以外の職員もその機能を活かし、担当事業の広報について活用するよう心掛けている。

②学校へのチラシ配布がタブレット配布になったことにより、学校・公民館双方の負担が軽減された。



## ②令和3年度事業費等の状況（決算見込み）

### 1 備品整備・補修工事費

公用車車検	55,990円
合 計	55,990円

### 2 講座学級等の事業費（講師謝礼等）

地域づくり講座	0円
プレイルーム元総社	17,400円
少年教室	15,000円
SUPER寺子屋	37,000円
ベテラン学習講座（無料）	0円
子育て・親子支援講座（無料）	0円
自主学習グループリーダー研修（無料）	0円
文化祭開催事業（※実行委員会助成）	0円
生涯学習奨励員研修（無料）	0円
公民館運営推進委員会等	10,000円
合 計	79,400円
※その他、消耗品等	247,460円

### 3 公民館運営費

消耗品費等	341,090円
補修費（施設修繕：下記参照）	6,790,400円※
社会参加費	0円
通信運搬費	21,700円
合 計	7,153,190円

※修繕、補修費については生涯学習課予算。＝6,790,400円  
 内訳：（駐車場舗装6,500,000円、陶芸窯290,400円）

### ③公民館の利用状況

#### 1 利用件数及び利用人数 (平成29～令和3年度、3年度は2月実績まで)

年度	一般利用(有料)		一般利用(免除)		主催事業		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
29	626	8,429	1,780	31,495	158	8,670	2,564	48,594
30	697	8,908	1,889	31,725	153	8,302	2,739	48,935
1	668	8,936	1,824	30,382	154	10,320	2,646	49,638
2	298	3,240	1,049	13,488	33	615	1,380	17,343
3	278	3,101	1,086	14,572	26	1,911	1,390	19,584

#### 2 令和3年度：月別利用回数及び利用人員 (2月まで)

月	利用件数及び利用者数							
	有料		免除		主催事業		計	
	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員
4月	41	557	118	1,736	0	0	159	2,293
5月	2	51	67	1,329	0	0	69	1,380
6月	8	81	119	1,180	0	0	127	1,261
7月	44	500	153	2,124	4	75	201	2,699
8月	12	147	17	260	0	0	29	407
9月	0	0	5	91	1	17	6	108
10月	34	323	114	1,221	2	54	150	1,598
11月	28	284	192	2,626	3	84	223	2,994
12月	39	447	141	1,796	3	63	183	2,306
1月	36	343	101	1,355	11	1,582	148	3,280
2月	34	368	59	854	2	36	95	1,258
3月	—	—	—	—	—	—	—	—
計	278	3,101	1,086	14,572	26	1,911	1,390	19,584

## 3 団体種別利用 (平成30～令和3年度)

(3年度は2月まで)

団体	平成30年度		令和1年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	利用人数	件数	利用人数	件数	利用人数	件数	利用人員
公共団体	495	9,599	533	9,490	435	4,969	444	5,576
青少年団体	80	1,045	78	1,141	22	308	26	420
女性団体	30	714	19	417	11	199	8	188
成人団体	1,962	28,970	1,831	27,519	858	11,056	865	11,299
高齢者団体	10	239	17	617	9	94	6	77
主催事業	153	8,302	154	10,320	33	615	26	1,911
企業その他	9	66	14	134	12	102	15	113
合計	2,739	48,935	2,646	49,638	1,380	17,343	1,390	19,584

## 4 部屋別利用

部屋名	令和2年度			令和3年度2月まで		
	件数	利用人員	利用料金	件数	利用人員	利用料金
ホール	340	6,566	635,360	364	7,916	687,560
和室(1・2)	416	4,549	80,020	383	4,233	76,190
会議室(1・2・3)	283	2,594	124,360	341	3,640	143,820
視聴覚室	178	2,054	88,670	174	2,506	83,520
料理実習室	0	0	0	1	14	370
アトリエ	163	1,580	71,470	127	1,275	66,200
合計	1,380	17,343	999,880	1,390	19,584	1,057,660
(有料団体計)	(298)	(3,240)	(144,040)	(278)	(3,101)	(140,780)

※ 有料団体計は、部屋利用全体の内数

## 5 陶芸窯実費徴収金額 (3年度は2月まで)

	令和2年度	令和3年度
件数	5	2
金額	9,020	3,330

## ④各種団体活動事業

※中止行事の人数は元年度(参考数字)

回	月日	事業内容等	参加対象	人数	会場
各実行委員会	5/9 (日)	のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場 中止	地区住民	3,000	元総社公民館
	10/4 (日)	市民運動会 中止	地区住民	2,700	元総社小学校
	10/30 (金) ~11/1 (日)	文化祭 中止	地区住民	3,671	元総社公民館
	1/9 (日)	元総社ふれあいまつり 中止	地区住民	2,000	元総社公民館
体育推進委員会	5/23 (日)	グラウンドゴルフ大会 中止	地区住民	164	元総社 北小学校
	6/6 (日)	ミニバレーボール大会 中止	地区住民	67	元総社中学校
	6/27 (日)	ソフトドッジボール大会 中止	地区住民	109	元総社小学校
	8/29 (日)	西部地区女子バレーボール大会 中止	元総社・総社・清里・東地区代表	60	元総社中学校
	11/28 (日)	スマイルボウリング大会 中止	地区住民	152	元総社小学校
	2/13 (日)	ディスコン大会 中止	地区住民	96	元総社中学校
子育連	7/ (土) ~7/ (日)	第69回リーダー研修 中止	地区小学生5・6年	35	みどりの村 キャンプ場
	10/ (土) ~10/ (日)	第70回リーダー研修 中止	地区小学生5・6年	30	妙義青少年 自然の家
	12/5 (日)	元総社地区上毛かるた大会 中止	地区小学生	141	小学校体育館
老人クラブ連合会	7/8 (木)	老連グラウンドゴルフ大会 中止	地区老連会員	109	大友町 さくら公園
	7/28 (水)	老連スマイルボウリング、 輪投げ大会 中止	地区老連会員	123	元総社公民館

青 健	12/11 (土)	前橋の子どもを明るく育て る活動 元総社地区活動	地区住民	25	元総社公民館
地 域 づ く り 協 議 会	6/12 (土)	防災講演会 (午前午後)	安全安心部会 自治会長	24	元総社公民館
			小中学校 (校長・教頭) 女性防火クラブ 他	31	
	7/5 (日)	三世代交流 ディスコン大会 中止	地区住民		元総社小学校
	10/18 (日)	歴史・文化ウォーク	地区住民	45	大友地区
	11/2 (日)	元総社地区防災訓練 ワークショップ 自治会版タイムライン	安全安心部会 自治会長 小中学校 (校長・教頭)	57	元総社公民館
	2/7 (日)	元総社郷土かるた大会 中止	地区住民	80	元総社公民館

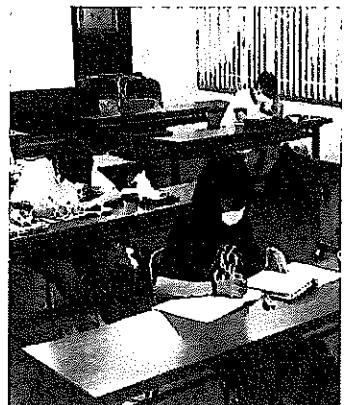


事業説明

前橋市教育委員会では、平成28年度より中学生の学習支援を行う「地域寺子屋事業」を実施しています。この事業は、地域の公民館等で中学生の学習活動を支援することで、生徒が自分の学力を伸ばすとともに、社会性や人間性を育めるよう、家庭や学校と連携しながら地域で子供を育てることを目的として実施するものです。

令和3年度 実施会場 (19会場)	第一中学校 〈会場〉一中地域活動室	みずき中学校 〈会場〉三俣町投票所	第三中学校 〈会場〉総合教育プラザ
第五中学校 〈会場〉五中地域活動室	第六中学校 〈会場〉総社公民館	第七中学校 〈会場〉七中地域活動室	明桜中学校 〈会場〉明桜中地域活動室
桂萱中学校 〈会場〉桂萱公民館	芳賀中学校 〈会場〉芳賀公民館	元総社中学校 〈会場〉元総社公民館	東中学校・箱田中学校 〈会場〉旧東公民館
南橋中学校 〈会場〉南橋公民館	鎌倉中学校 〈会場〉鎌倉中地域活動室	木瀬中学校 〈会場〉永明公民館	荒砥中学校 〈会場〉城南公民館
大胡中学校 〈会場〉大胡支所	宮城中学校 〈会場〉宮城公民館	粕川中学校 〈会場〉粕川公民館	富士見中学校 〈会場〉富士見公民館

- 授業日の週2回17時～20時の間※、学校帰りに参加することができます。参加する生徒は、実施時間内であれば、希望の時間帯に学習することができます。 ※季節や学校行事等の都合で変更することがあります。
- 実施会場に指導者と地域サポーター・大学生ボランティアを配置し、中学生の自主学習を支援しています。生徒は自分の課題に応じて、自主学習に取り組みます。



令和3年度 地域寺子屋 (元総社公民館) 参加生徒数

【1学期】

5月							計
実施日	5/13	5/17	5/20	5/24	5/27	5/31	6回
参加人数	19	16	19	13	13	12	92人

7月					計	
実施日	7/1	7/5	7/8	7/12	7/15	5回
参加人数	11	11	11	11	10	54人

【2学期】

9月		計
実施日	* 新型コロナウイルスにより全会場休止	0回
参加人数		0人

11月							計			
実施日	11/1	11/4	11/8	11/11	11/15	11/18	11/22	11/25	11/29	9回
参加人数	5	6	5	8	9	8	6	7	4	58人

【3学期】

1月					計	
実施日	1/13	1/17	1/20	1/24	1/27	5回
参加人数	8	2	10	6	8	34人

2月		計
実施日	* 新型コロナウイルスにより全会場休止	0回
参加人数		0人

6月											計
実施日	6/3	6/7	6/10	6/14	6/17	6/21	6/24	6/28	6/31	7/4	8回
参加人数	20	8	15	12	16	13	8	11	11	103人	

10月							計	
実施日	10/4	10/7	10/11	10/14	10/18	10/21	10/25	7回
参加人数	8	10	8	8	10	6	2	52人

12月							計
実施日	12/2	12/6	12/9	12/13	12/16	12/20	7回
参加人数	8	5	8	2	21	4	44人

1学期	延べ人数	249人	開催回数	19回	1回あたり参加者数	13.1人
-----	------	------	------	-----	-----------	-------

2学期	延べ人数	154人	開催回数	21回	1回あたり参加者数	7.3人
-----	------	------	------	-----	-----------	------

3学期 (2月現在)	延べ人数	34人	開催回数	5回	1回あたり参加者数	6.8人
------------	------	-----	------	----	-----------	------

令和3年度 (5月~2月)	実施回数	45回
	参加のべ人数	437人
	1回あたり平均	9.7人

# ①令和4年度元総社公民館の重点施策

元総社公民館

## 1 目的

公民館は、地域を基盤とした社会教育施設であることをふまえ、本公民館においても、地域性を反映した公民館運営を進めていく。また、地域住民が学習を通じて互いに連携し、地域に対する理解を深め、学んだ成果を地域で発揮していくことにより地域づくりが進められるよう務める。

## 2 重点施策

次年度の元総社公民館における重点的な施策は以下のとおり。

※参加人数や参加者同士の距離を調整するなど、感染防止策を講じて事業を開催する。

※オンライン講座や動画配信を取り入れた講座等、新しい開催方法を検討していく。

### (1) 子育て・親子支援

本地区は、アパート、寮、公務員宿舎などが多く、比較的他市からの転勤者が多い地区である。潜在的に子育てに困っている保護者が多いことから、家庭教育に関する事業を実施し、子育て環境の充実を図る。

①元総社すこやか学級やベビープログラム、子育て支援講座などの主催事業を開催する。

②元総社地区ボランティア連絡会と保健推進委員会との共催で子育てサロン「かえるっ子」を支援する。

③公民館で活動している子育て団体の育成、支援を行う。

また、昨年度に引き続き、区内住民を対象とした子育て支援講座を開催し、新たな人材の育成に努め、託児ボランティア活動の次世代の担い手に繋がる掘り起こしを継続的に行っていく。

### (2) 青少年体験・チャレンジ活動

青少年関係団体等と連携した様々な事業の支援や少年教室などの主催事業を実施し、青少年の野外集団活動・創作活動・地域行事などへの参加を促進し、少年期の健全なる心身の発達を図る。具体的に下記の事業を実施する。

①青少年の地域貢献及び成長の機会とするため、青少年自らが事業を企画立案・運営できるよう支援する。「SUPER寺子屋」

②小学生を対象にした宿泊研修に代え、日帰りの野外体験活動や、活動上の安全対策を学ぶ講習を実施する。

③のびゆくこどものつどいや元総社ふれあいまつりなどのイベントを通じて、地域の子どもたちの社会参加と世代間の交流を促進する。

④少年教室を実施し、子どもの情操や社会性を培い地域に対する愛着を深める。

⑤ボランティア連絡会と公民館の共催事業で、幼少期から少年期にかけての児童を対象とした「プレイルーム元総社」を実施し、世代や学区を越えた交流を図り、子どもの豊かな心を育む。



### (3) 生涯学習奨励員活動支援

生涯学習奨励員の活動支援・推進のため、また、自治会長との連携をよりよいものにするため、各種の研修会や講座を設ける。

#### ① 視察研修

奨励員と自治会長合同の視察研修。前橋及び近隣の地域の歴史遺産を視察し交流と研鑽を深める。

#### ② 奨励員単独研修

奨励員のための個々の研鑽を高める研修事業

#### ③ 出前講座を活用した研修

奨励員と自治会長合同の研修講座で、市の出前講座を活用して共通の学びを通じた研鑽と交流を図る。

### (4) 自主学習グループ活動支援

自主学習グループ会員相互の親睦を深める事業を実施するとともに、各グループの学習成果を地域に還元する取り組みを支援する。

コロナ禍によりイベントの開催に影響がある場合は、グループ連協や実行委員会と協議し、可能な限り発表の場を設けられるようにしたい。

### (5) 学び合い、人権、地域ふれあい

住民同志の交流や支えあい、歴史や伝統文化の継承など、多面的に講座を開催し、住民の主体的な地域づくりの取り組みを支援する。オンライン講座や動画配信など、新しい開催方法を検討していく。

#### ① 地域を学ぶ歴史講座

国府を中心とする遺跡など、元総社の大切な歴史資源について学ぶ講座を設け、地域に対する愛着を醸成することを目的とする。国府の時代以外の歴史についても着目してみる。

#### ② 伝統文化の継承

伝統・文化の継承の場を創出し、世代間交流も含めた地域内での文化継承を推進する。講師には地元講師を依頼する予定

#### ③ ベテラン学習講座

健康づくりや豊かなライフスタイル、また元総社地区の大切な歴史資源について学ぶ講座を実施し、地域住民として郷土を愛し心豊かな生活を営むための知識を得る。

スマートフォンの便利な機能を学び、生活に活用できるよう、スマートフォン講座を開催する。

#### ④ 人権教育

地区内小中学校の生徒・児童が作成した人権教育に係る作品を、広く周知・提供することにより、人権意識の向上と啓発を図る。展示を行う際は、市のフェイスブック等でも閲覧できるようにする。

#### ⑤ 文化祭

公民館の自主グループの日頃の学習成果の発表の場である地区文化祭を開催する。併せて地域の各種団体が出し物・出店を文化祭の中で実施し、地域の一大イベントとして、住民の交流や活性化を図る。

また、子どもたちを対象にした勾玉作りコーナーや、総社神社太々神楽や上宿町獅子舞、大友町百万遍などの郷土芸能の発表コーナーを設け、幅広い年齢層が郷土の歴史に触れ、郷土に愛着を持ち、主体的に地域づくりに参加する姿勢を醸成する。

コロナウイルスの感染拡大により開催できない場合は、作品展示会を中心とした方式で開催する。

### 3 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公民館講座の在り方

新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染防止策、いわゆる3密の対策が必要となり、令和元年末より公民館の講座や地域のイベント等、年間計画の多くが中止に追いやられている。

令和3年度は、コロナ感染拡大により、事業を企画しては中止にするということの繰り返しであった。警戒度が低い時期に開催できた講座はあったが、少人数での開催とし、かつ消毒や検温を行うなど、安全対策を取りながらの開催となった。

令和4年度も同じ状況が継続するのであれば、小規模でも実施できる方法を考えて、一つでも多く事業を実施していきたい。

## ②令和4年度元総社公民館事業計画

### 1 実施予定事業の概要

単位：円

事業名	予定内容	予算要求額
子育て、親子支援 (元総社すこやか学級)	未就園児をもつ保護者の学習及び子育てボランティアの育成	94,000
青少年体験・チャレンジ活動 (元総社少年教室)	世代間の交流を通じた少年の育成	62,000
青少年体験・チャレンジ活動 (プレイルーム元総社)	幼児や低学年の小学生を対象とした講座の実施	58,000
生涯学習奨励員活動支援 (生涯学習奨励員研修)	奨励員と自治会長との合同研修	19,000
自主学習グループ活動支援 (自主学習グループリーダー研修)	公民館利用団体を対象とした研修会	9,000
学び合い、人権、地域ふれあい (ベテラン学習講座) (地域づくり講座)	高齢者の生きがいづくり支援事業 地域人材を活用した講座の実施	67,000
文化祭	学習成果の発表を通じた、地域文化の振興と向上	110,000
情報提供事業	「かんぼう元総社」発行。ホームページやフェイスブックによる情報発信	188,000
公民館運営推進委員会	公民館における各種事業の企画及び実施についての調査審議	16,000
合 計		623,000

